

2026 年 1 月 15 日

岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センターの入院診療を受けられた患者さんへ

「 熱傷患者における耐性菌のリスク因子の探索 」 への 協力のお願い

岐阜大学大学院医学系研究科感染症寄附講座では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2016 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間に、岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センターにおいて、熱傷治療を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：

熱傷により正常な皮膚が喪失すると、外敵からのバリア機能が消失し、細菌や真菌などの微生物に対する免疫力が低下してしまいます。そのため、重症熱傷患者を救命できるかどうかの要因の一つに、熱傷で喪失した皮膚が治るまでの長期間にわたって感染を治療し続けられるかどうかのことが挙げられます。熱傷患者の感染治療において、抗菌薬に対して抵抗力のある細菌や真菌、いわゆる耐性菌が頻繁に問題になります。本研究では、今までの熱傷入院患者の治療歴を研究して耐性菌出現のリスク因子を探索することで、熱傷患者により適切に感染症治療を提供できるようになることを期待します。

研究に用いる試料・情報の種類：

以下の項目について、電子カルテより取得します。これらは全て日常診療で実施された項目です。

入院日の年齢・性別、身長・体重、基礎疾患、内服薬、アレルギー、ADL・IADL

熱傷の受傷機転や熱傷面積、深達度、熱傷指数、熱傷予後指数

入院期間及び退院時転帰

血液検査結果 (Alb, AST, ALT, BUN, Cr, 総ビリルビン, CRP, 白血球数, ヘモグロビン, 血小板数, PT, FDP, ATIII)

微生物検査結果

抗菌薬投与歴ならびに手術加療歴

機械的デバイス (血液浄化療法、人工呼吸) 使用有無

中心静脈カテーテル留置及び尿道バルーンカテーテル留置の有無

カテコラミン使用有無、血液製剤使用有無

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりませ

ん。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出てください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座
電話番号：058-230-6448（救急災害医学分野内）
氏名：三浦 智孝

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座
氏名：三浦 智孝

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@gifu-u.ac.jp